

# 平成24年7月の九州の豪雨災害等を踏まえた堤防の緊急点検結果(富山県)

今回の被災を踏まえて、既存データを活用しつつ再確認

## ○堤防の浸透に対する安全性

- ・過去の漏水実績箇所等、浸透により堤防が崩壊するおそれのある箇所
- ・旧河道跡等、パイピング※1により堤防が崩壊するおそれのある箇所

→ 要対策延長 約3km

## ○流下能力の不足箇所(ボトルネック部)

- ・堤防高が局所的に低い等、当面の目標に対して流下能力が不足している箇所

→ 要対策延長 約69km

## ○水衝部等の侵食に対する安全性

- ・河床が深掘れしている箇所や水衝部※2等、河岸侵食・護岸欠損のおそれがある箇所

→ 要対策延長 約12km

※1 地盤内にパイプ状の水の通りみちができること  
※2 洪水の流れが堤防に直接あたる箇所

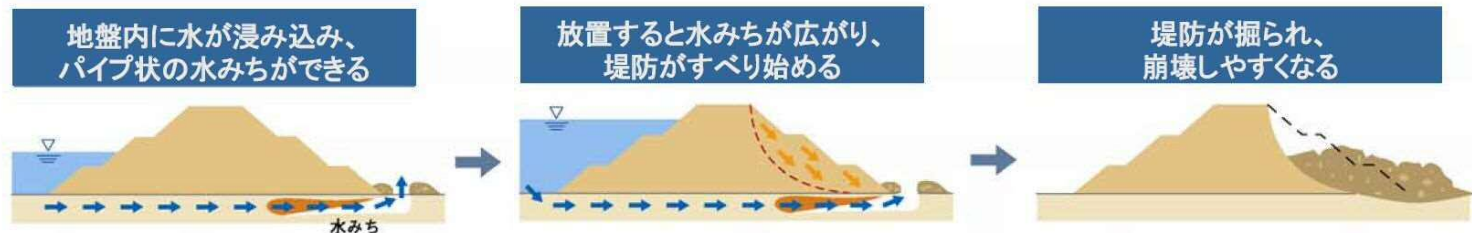


背後地の人口、資産等を踏まえ、優先順位をつけながら選択と集中によるハード対策を実施

# (参考) 堤防決壊のメカニズム

## 河川水の浸透による堤防決壊

パイピング破壊  
イメージ図

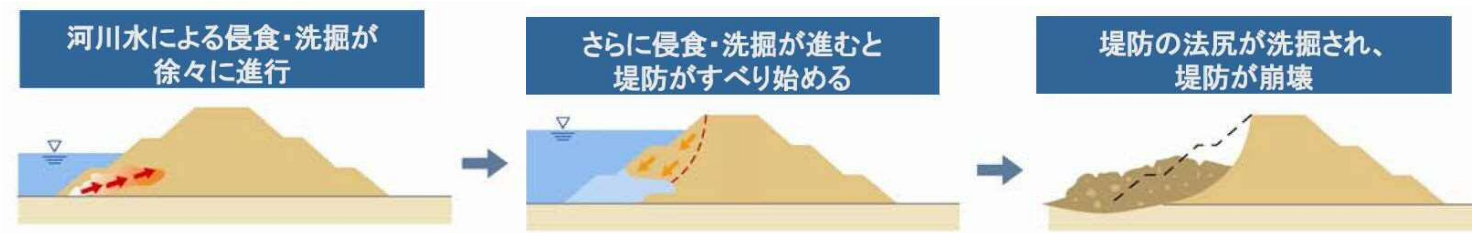


浸透破壊  
イメージ図



## 河川水の侵食・洗掘による堤防決壊

侵食・洗掘破壊  
イメージ図



## 河川水の越水による堤防決壊

河川水の越水による堤防決壊  
イメージ図

